

KGA

'94冬季号
1994年12月1日発行



NO.49

目次

KGALレポート)コース・レートは生きている 1	新規加盟倶楽部紹介 13
—なぜ再査定が必要か—	
平成6年度 関東シニアゴルフ選手権競技	
関東ミッドシニアゴルフ選手権競技 4	
"豊岡式"ジュニア・ゴルフ・スクール 10	
表紙photo 濱之台カントリークラブ (撮影・石川博英/KGA広報委員)	

関東ゴルフ連盟

KGALレポート

コース・レートは生きている

—なぜ再査定が必要か—

KGAコース・レート委員長／新井 安寿



まずはティインググランドでホール全体の地形 ハザード 樹木 OB等をチェックする

ほとんどの倶楽部が“コース・レート”は不变であり、ひとたび取得すれば未来永劫のものと考えているようだ。

しかし、コースは改造、樹木は大きくなり、査定時とくらべれば、年数がたつとともに姿、形は変貌する。また、査定方法もJGAハンディキャップ委員会の毎年の検討の結果、大きく変わり、しかも全国統一基準が決定された。となると、一定年数を経たコースのレート数値は実状に合ってないことになる。

2号にわたって、コース・レート査定の現状と問題点を連載する。

はじめにハンディキャップありき

KGAが現在のハンディキャップ規定の基になる「KGAハンディキャップ査定規定」を定めたのは、昭和30年5月28日のことである。実施は昭和31年1月1日からであったが、その目的とするところは、連盟に所属するアマチュアのハンディキャップの公正化をはかり、主催競技の公正な運営を期すことであった。

当時は、ハンディキャップは倶楽部ごとに決めればよいという考え方が一般的であり支配的であった。当然、ハンディキャップの査定方法もさまざまであった。

同一倶楽部のメンバーが、その倶楽部のコースをラウンドするぶんには、倶楽部個々のハンディ

キャップであっても不都合はないかもしれない。
しかし、連盟主催の公式競技では問題であった。

なぜなら競技に参加する選手の所属倶楽部は、
いうまでもなく同一ではなく、同じハンディ5であるといっても、その査定方法が違うから必ずしも同一ハンディとはいえないからである。

これでは、競技の公正は期しがたい。これがハンディキャップ公正化、均一化の理由であった。

査定開始は昭和31年

連盟が「ハンディキャップ査定規約」を制定したことにより、今日のように理想的なかたちでなかったにしても、各倶楽部に共通するハンディキャップ査定方法が確立した。次の問題は、各コースに共通する一つの基準を設けることであった。この基準こそがコース・レーティングである。

コースは、地形などによってレイアウト、各ホールの距離が決められる。したがって、同じ400ヤードのミドルホールがあったにしても、打ち上げと打ちおろしのホールでは、実際にプレーした場合、打ち上げのほうが距離的に長くなる。

つまり、同じ距離でも難易度（ブレイングディスタンス）が違うのである。こうした難易度を超えた基準が必要となる。

難易度を超えた基準、すなわちコース・レーティングを決めるには、各コースを実地踏査する必要がある。

KGAは、昭和30年12月の理事会で、コース・レーティングに関して次のようないい決議した。



査定表に書き込みながらグリーンに向かう



「コース・レート査定の申請があった場合は、ハンディキャップ委員がコースを実地踏査したうえ決定する。」

ハンディキャップ委員会は、この決定にしたがって昭和31年から加盟俱楽部各コースの実地踏査を開始した。

実状に合っていないコース・レート数値

由来今まで「コース・レーティング査定方法」もJGAハンディキャップ委員会が中心となり全国基準化がはかられた。(具体的な内容は次号掲載)

また、KGAL加盟俱楽部463(平成6年11月1日現在)のうち、450がコース・レートを取得している。

ただ、問題は、コース・レート査定数値は不变でないことである。あたり前のことだが、年数がたつにつれて、樹木は大きくなり、ハザードが増え

(減り)たり、距離は変わり、グリーンもペントのワングリーンとなったり——。つまり難易度が変わっているはずである。

このように、ほとんどのコース・レート数値は実状に合っていないことになる。

下段のコース・レート査定年度一覧表をごらんいただきたい。コース・レート査定を行って10年以上たった俱楽部が233コース、16年以上となると157コース、21年以上39コースの多くの数えるにいたった。

コースの実状にあったコース・レート数値があって、はじめて公正なハンディキャップ査定が行われることはいうまでもない。

私たちが再査定の必要性を強く主張するのはこのためである。

とはいっても、年間平均30コースの査定で目一杯の今日、全コースの再査定を一氣に行なうことは不可能である。その方法、体制を検討し、一定期間中に実施することを考えたい。

加盟俱楽部の関係諸氏のご理解とご協力を請う次第である。

コース・レート査定年度一覧

	10年以内(～S59)	11年～15年(S58～S54)	16年～20年(S53～S49)	21年～29年(S48～S40)	コースレートなし
新潟県	アイビス・イーストヒル・糸魚川・小千谷・柏崎・並木五箇・紫雲・下田城・新発田城・上越国際(十日町)・中条・長岡・新潟・新潟出雲崎・新潟三条・日本海・フォレスト・松ヶ峯・妙高サンシャイン・湯沢・湯田上・レイクビュー・越後・中峯	津川	石内後楽園・妙高・新津		
28	24 (85.7%)	1 (3.5%)	3 (10.7%)		
長野県	あづみ野・うるぎスカイランド・グラム丸子・佐久平・信州駒ヶ根・大浅間・立科美智・豊科・長野国際・フォレスト三井の森・斑尾高原・松本浅間・松本・三井の森・望月東急・八ヶ岳高原	信州塩尻高原・望月・サニー	旧軽井沢・千曲高原・長野・穂高	諏訪湖・蓼科高原	川中島・ヴィラ蓼科・南長野
28	16 (57.1%)	3 (10.7%)	4 (14.2%)	2 (7.1%)	3 (10.7%)
山梨県	秋山・甲斐駒・清春・甲府国際・境川・敷島・中央都留・富士河口湖	河口湖・昇仙峡・都留・富士川	グリーンバレイ・富士レイクサイド・富士ロイヤル		
15	8 (53.3%)	4 (26.6%)		3 (20%)	
群馬県	赤城国際・赤城・太田収葉・関谷ハイランド・桐生・草津・サンフィールド・下仁田・上武・高山・ツインレイクス・月夜野・ペルエア・練野・美野原・妙義	甘楽・群馬・下秋間・沼田SP・鳳凰・ルーデンス・ロイヤルオーク	伊香保国際・サンコート・サンランド・上毛森林・ノーザン群馬・プリンスランド・御荷鉾・ローズベイ・高崎KG	藤岡・伊香保	
34	16 (47%)	7 (20.5%)	9 (26.4%)	2 (5.8%)	

コース・レート査定年度一覧

	10年以内(～S59)	11年～15年(S58～S54)	16年～20年(S53～S49)	21年～29年(S48～S40)	コースレートなし
栃木県	アローエース・イーストウッド・大金・思い川東急・鹿沼72・関東国際・高津川・鬼怒川・鬼怒川森林・グレンビークマナー・広陵・サイプレス・佐野・サングリーン・サンヒルズ・サンレイク・東雲・新宇都宮・チサン黒羽・都賀・東松苑・橋木ヶ丘・那須国際・南摩城・ニューセントアンドリュース・パークレイ・東照須・東ノ宮・神島谷・ヒルクレスト・ホウライ・真名子・宮の森・紫雲・ユーアイ・レイクランド・ロイヤルメドウ	(佐野)・下野・東都栎木・鹿和郡須・皆城・矢板・ゴルデンレイクス	大日向・鹿沼・黒磯・韋原月(鹿沼)・サンランド那須・塙原・ジュンクラシック・杉ヶ郷・千成・鶴・柄木・那須小川・那須・ニューセントラル・芳賀・東宇都宮・鳳月・ロイヤル	あさひヶ丘・宇都宮国際・大平台・唐沢・烏山城・韋月(鹿沼)・サンランド那須・塙原・ジュンクラシック・杉ヶ郷・千成・鶴・柄木・那須小川・那須・ニューセントラル・芳賀・東宇都宮・鳳月・ロイヤル	足利・サンモリッツ・城山・鹿
77	37 (48%)		13 (16.8%)	20 (25.9%)	3 (3.8%)
茨城県	潮来・岩瀬桜川・霞ヶ浦出島・桂ヶ丘・ガーデン・金砂郷・ザ・ウイングス・ザ・レイクス・北浦・久慈川・グランドラスマ・セブン高萩・千代田・日立・富士笠間・フレンドシップ・戸戸	アジャ取手・茨城パシフィック・常総・新水戸・千代田・日立・富士笠間・フレンドシップ・戸戸	浅見・麻生・茨城・霞ヶ台・金乃台・栗橋国際・桜・サンライズ・白帆・ダイヤグリーン・つくばね・東筑波・那珂	アジャ下館・江戸崎・大洗・大利根・桜の宮・常陽・土浦	
63	33 (52.3%)		10 (15.8%)	13 (20.6%)	7 (11.1%)
埼玉県	浦和・越生・霞ヶ関・北武蔵・児玉SP・高麗川・ザ・フォーラム・猿山・森林公園・鶴ヶ島・ノーザン鎌ヶ原・鳩山・東松山・美里・武藏松山・ユニオンエス・寄居・リバーサイドP・石坂	入間・秩父国際・東京	小川・川越グリーンクロス・鴻巣・熊谷・廣済堂埼玉・高坂・高根・東都秩父・長瀬・飯能・武蔵・日本	岡部チサン・川越・日高・嵐山	埼玉・東都埼玉・飯能パーク
41	19 (46.3%)		3 (7.3%)	12 (29.2%)	4 (9.7%)
千葉県	姉ヶ崎・上総富士・カレドニア・京・君津・久能・源氏山・小御門・GCIA・佐倉・佐原SP・スカイウエイ・超成・純武・大栄・千葉夷隅・千葉SP・東京湾SP・富里・トヨヨー・中山・習志野・成田・白鳥・浜野・東千葉・平川・フォーシーズン・風掛・房総・万水城・真名・南千葉・南茂原・茂原	市原京急・エンゼル・オーハービルズ・柏・加茂・木更津・コスモクラシック・成田ハイツリー・館山・千葉廣治道堂・長太郎・成南・東我孫子・八千代・成田SP・米原	一の宮・大多喜・かずさ・ザ・鹿野山・新千葉・大千葉・千葉・千葉葉・千葉新本・銭子・南緑・本千葉・八幡・ラコスタ房州	我孫子・鎌ヶ谷・京葉国際・袖ヶ浦・鷺之台・鶴舞・藤ヶ谷・船橋・紫	ナリタ・香取
76	35 (46%)		16 (21%)	14 (18.4%)	9 (11.8%)
東京都	赤羽・青梅・桜ヶ丘・東京国際	相武	GMG八王子・立川国際・多摩・東京五日市・東京よみうり・八王子・武蔵野	小金井・府中	2 (2.6%)
14	4 (28.5%)		1 (7.1%)	7 (50%)	2 (14.2%)
神奈川県	清川・相模湖・湘南シーサイド・大箱根・チェックメイト・東京・葉山国際・程ヶ谷・本厚木・レイパー	大秦野・小田原・神奈川・相模原・相模原・大相模・津久井湖・秦野・相模	厚木国際・伊勢原・鎌倉・大磯・小田原湯本・中津川・平塚富士見・美善・湯河原		
35	10 (28.5%)		9 (25.7%)	10 (28.5%)	6 (17.1%)
静岡県	朝霧ジャパンボリ・伊豆下田・伊豆にらやま・小田急西富士・小田原日動駿殿場・掛川グリーンヒル・ザ・ナショナル・ザ・フォレスト・裾野・大富士・豊岡国際・中伊豆グリーン・富士・富士見ヶ丘・三島SP	朝霧・芦の湖・伊東・菊川・静岡袋井・大熱海国際・太陽・富士御殿場・ミオス菊川	足柄森林・愛薫600・天城にっかつ・伊豆大仁・伊豆国際・伊豆スカイライン・涌南・御殿場・サザンクロス・静岡浜岡・十里木・修善寺・東名富士・沼津国際・浜松シーサイド・藤枝・富士宮・南遠模・南富士・リバーウエスト・東名・富士エース	静岡田・富士小山・富士平原	伊東GC
52	15 (28.8%)		9 (17.3%)	23 (44.2%)	4 (7.6%)
合計	217 (46.8%)	76 (16.4%)	118 (25.4%)	39 (8.4%)	13 (2.8%)

*機上査定による再査定は含まず

平成6年度 関東シニアゴルフ選手権競技 関東ミッドシニアゴルフ選手権競技

●開催日 平成6年9月27日(火)、28日(水)

●開催コース 霞台カントリークラブ

・シニア 筑波コース 6,389ヤード パー72
・ミッドシニア 霞コース 6,311ヤード パー72

KGAには259名の役員、理事、委員がいるが、皆さんことゴルフとなると“一家言”的持主であり、かなりの“腕自慢”である。

とくにシニア、ミッドシニアの委員の皆さんは、かつての“栄光のプレイヤー”であり“現役プレイヤー”でもある。そこで今回は趣向を変えて、二人の広報委員に“観戦記”ならぬ“参戦記”をお願いした。

写真・舟橋一芳(広報委員)

ワン・ストローク差、 その悲哀の裏側

文・宮元昭雄(広報委員会副委員長)

KGAの佐藤事務局長はシニアの名人である。根が出版界の出身だけに仕事に対する手回しのよさと、人を喰けて仕事をさせるというその才覚はさすがなものだと、常日頃から感服していたが、こともあろうにシニア競技の決勝の当日、参戦記を書くようにと私にお鉢が回ってこようとは思ってもいなかった。この2日間は何も考えないで、どっぷりとゴルフを楽しむつもりだったし、だいいちこれまで連盟主催の競技会などの観戦記などなどと他人のことばかりを書いてきた私が、自分を主人公にして書くということは、どう思っても気の進まない頼まれごとでもあった。

なんたる無様だ。俺ともあろう者が173も大叩きをして、どこで何がどうなってしまったのか信じられないこの数字の現実、こんなにゴルフが下手になってしまったのだろうかと悔しいのではなくむしろ悲しいというか耐えられぬ屈辱感に覆われ、惨めなそのワン・ストロークの悲哀を嫌というほど味合った大会である。

□第1日目でもう終わった

スタート前日まではベスト10ぐらいには悠々入れると自分なりに確信していた。いや決して過信ではない。というのも大会2週間前までアメリカでゴルフ三昧だった。

8月、ブロードモアのワールド・シニア選手権の日本チームのブレイング・キャブテンとして2週間に及ぶロングランを闘ってきたし、その後あわせて18ラウンドもゴルフ漬けになっての帰国したばかりだった。し



この見事なフォームでもバットが決まらずあえなく……

かも飛距離も40年も使いつけたバーンからSヤードに変えて大きく伸びが出てきたし、パットも好調そのもので、この分なら充分“いける”という自信をもって望んだことは事実だった。

それがどうしたことか初日88の大叩きとなり、瞬間茫然とした。予選の通過ラインを162から163と踏んでしまったのが結果的に失敗だったかも知れない。88も叩いたんでは“もう終わった”と思うのが当たり前で、これまで張り詰めていた緊張の糸もブツツリと切れたような気持ちだったし、「まだ、一日あるぞ」と仲間の慰めも虚しく聞こえるだけで、むしろ真剣な顔つきで、あれこれと反省談義をする人の顔が滑稽にさえ見えてくる。「ギリギリでも通過すればよい」とスコアを計算しながら楽しむ人たち。それらの人の顔を見ていると、ああ…俺ものんびりゴルフをやりたい、第一、なんなんだ、この沈み切った気分は。つまらんプライドが邪魔しているのだろうか。プライドなどなんの役にも立たない。自分の下手さ加減を認めて、サッサとゴルフから遠ざかり、あとは長生きのため健のためにとかいう名目の楽しいゴルフを心がければ、どんなにか気分的にも解放されるだろうに、と自問自答をくり返しながら落ちこぼれの悲哀をいやといふほど味わったのだった。

ワン・ストロークの悲哀を経験した人は多いと思う。ゴルフに運、不運はつきものとはいうが、何が起こるかわからないのもゴルフであろう。

65歳から69歳までがミッド・シニア。シニアの出場資格が55歳から年齢が下がられた時から、この10歳の年齢差は、体力、気力それに若さから見てミッドの及ぶところではないと、ミッドクラスがシニア競技をボイコットする傾向にあった。KGA競技委員会の大英断で、いわば老人救済手段を講じたとでもいうか(失礼)ミッドクラスに夢も一度と、その輝かしいチャンスを与えてくれたのが今年度初の公式によるミッド・シニア競技だったわけで、この企画は大好評であった。

アマチュアの大会で、俱楽部対抗に次いでギャラリーが押しかけ応援風景が各所に見られたのも、このミッドならではの人気だろう。いわばキャリアを通じて共通する仲間意識が高く、それなりに社会的地位にある者たちが、果敢に挑戦するこの競技は、日本の戦後ゴルフ史を支えてきた人々の集団でもあるだけに、関

心も強くその意味では大変有意義な企画だったと思っている。

ゴルフは楽しくなくてはならない。なのにこれまでのシニア選手権ではお互いの顔や名前すら分からぬ者ばかりの集り、ましてや関東アマ等となると学生など若い人たちに支配されている。ギスギスした大会の雰囲気がこれまでのシニア選手権であったが、このミッドは大きな違いだ。つまり20年振りにかつて俱楽部対抗の選手として活躍した者同士が久しぶりにめぐり逢った懐かしさ、いまだ、衰えず頑張っている中途半端(失礼!)な老人たちが、その旧懐を楽しみ談笑の輪が出来てその和やかな雰囲気こそ素晴らしいものであったと強く印象に残った。

30年代後半の俱楽部対抗で全国制覇(中山C.C.)を成し遂げた時の球友、角南君や岩井君たちとも久しぶりに出逢った。日本オープンや関東オープンに出席した当時の球友にも逢えた。約30年振りの出逢いが懐かしく嬉しかった。

キャリアはあっても体力は衰え、飛距離の落ちた者同士が新作のクラブを自慢し合い、昔のイメージを宝のように意識してティーオフしていく姿、この年代になるとつまりゴルフこそ恋人なのである。



カット 山県和彦

□幸運の女神を怒らせた?

さて私の乱調の原因はパットにあった。ことごとくカップに嫌われた。いうなれば打ち切れないのだ。アメリカの速いグリーンでのフィーリングが残っているというかそんなことは理由にならない。同伴者の先輩がそう慰めてはくださったものの、つまり総じて言えることは、頭が悪いということなのだ。(自分で決してそうは思っていないのだが...) 杉山英男氏(霞ヶ関)が「女神の怒りを買うようなことでもしたんだろう」という。無造作に打って10ヤード以上もあるロングパットをボンボンと放り込む。「楽しさからやりきか」と独り言を言いながら実に手堅いゴルフだ。教範仰いで心臓が強くなる方法を学びたいと思った。そうすれば、まるで筋肉がサビついたような腕や手がもっとスマーズに前に出るようになるかも知れない。

古い球友の野本競技委員(袖ヶ浦)に「宮さんのために易しいところにピンを切っておいてあげたよ」とからかわれた。88も大叩きしたのだから激励はほんの



シニアチャンピオン 中村清氏（上・水戸）とミッドシニアチャンピオン 市川一夫氏（伊香保）

お世辞「のんびりやってよ」とつがれたビールがやけに腹の底にしみた。

悪い勘は應々にしてよく当るものだ。2日間もインスタートだった。10番はどうも苦手意識が残っていた。ゴルフはムードとリズムを大切にしなくてはならないというのが自説なのである。スタートして3~4ホールを手堅くパーで回れば、その日はその緊張感を持ったまま突っ走れるというのが自分流の攻略法なのだ。ところが初日はこの10番で崩れてしまった。失敗は繰り返すまいと思いつつもやはりアプローチとパットミスでいきなり2オーバーと崩してしまった。この焦りはやはり最後まで引きつってしまった。終わってみれば2日間共10番と18番がなんとダボ。8ストロークもここで無駄遣いをしている。せめてボギーなら悠々予選通過なのにと今更死んだ子の年を数えても仕方ないことが、相性の良い悪いというのは、かなりゴルフに影響するものなのであろう。誰を怨むでもなく納得いかない2日間だった。

□共に捲土重来を期す

古い球友である東名の山田八郎氏（KGA 競技副委員長）とは2日間同宿した。彼も初日大叩きをして40年のゴルフでワースト記録だと沈み切っていた。なんでも競技中に胸部に激痛が走り、目眩がしてゴルフにならなかつたという。私は彼の辛そうな顔色を見て明日は棄権するように勧めたが、「スコアが悪かったからといってキャンセルするようなことはしない」と翌朝、約束の時間にホテルのロビーに彼の姿を見た時、

ホットしたものだ。結果は予選落ちだった。彼も私以上に言い知れぬ屈辱感を味合つたことであろう。

後日、ハガキが彼から届いた。「時間が過ぎて益々不思議なスポーツであるゴルフを痛感した。気のせいか白髪も増えたが来年に向かって燃えるスタートが出来たことも事実だ、共に挑戦しよう。」と書いてあった。

この純粋な感覚こそがスポーツを愛する人にとっては何よりも大切なマインドだろうと彼の氣力に敬服した。俗に捲土重來という言葉があるが、小生にはそんな気持ちはどうでもよい。当分はクラブを握りたくない、どこか遠くの温泉にでも行って酒でもくらって、カラオケでも唄って、と思いきや、やはりゴルフしか楽しみがない私にはゴルフをとってしまったら何も残らないのではないか。時間をかけて思い直すとしよう。

JGA専任理事の西田幾久彦氏も健闘していた。KGA副理事長の中井文治氏も「明日からジャパン・オープン（彼がその競技委員長を務める）だし、そっちのことが気になって…（台風26号接近）…」と言っていたが、それでも両者堂々と通過ラインを超えたというからさすがに立派である。

気遣い、気疲れ、気慰め、そして気詰り、ああ草臥ふれた大会であったと思うのが実感である。

終わりに一言付言しておきたい。ミッドにふさわしく所属俱楽部の長老格ともいえる人たちが参加したこの競技会、理事長クラスも参加者の中にはいたし、ゴルフ場にとっても有形無形の功労者が出場者の中にはいた筈だ。なのに俱楽部関係者の応援の姿があまり見られなかったのはどういう訳か。自分のコースの会員が競技会に出場する。子供の大会ならいざ知らず、ミッドともなればそれなりに俱楽部では重鎮であろう。支配人や俱楽部の関係者が時間の都合をつけて応援に出てくることくらいの気持ちがあつてもよいのではないか。ゴルフ俱楽部の本質を改めて考えた人も多かつたことだろう。

現代のゴルフ界の世相を反映しているといえばそれまでだが、商売も大切かも知れないが、ちょっとした思いやり、そこにクラブライフが育っていく訳だし、メンバーよりビジターを大切にするという妙な経営の概念がいつの間にか現代を支配しているが、もうそんな時代は来ない。やがてゴルフ社会も昔の良き時代に戻るような気がするのである。そのためにも、シニアや、ミッドなどの真のゴルフ理解者たちが、今後は俱楽部の発展に大きな支柱になることは必至であろう。

ミッド・シニアの企画に万感の敬意を表し、そして雑感を交えて参戦記を閉じたい。

夢と懐かしさを育む

文・塙田 正（広報委員）



塙田委員の力強いアイアンショット

初日、2日目とも3番の池に第2打を打ち込んだ。はじめからあまり景気のいい話ではないが、わが初参戦の関東シニア選手権も、この池にボールが静かに沈んでいったごとく、あえなくその期待

も水の泡と消えてしまった。池に落とした2日目、6を叩いて3番グリーンを引き上げるとき、近くで競技委員をしていた畏友山崎暁彦氏（霞台CC）から、「僕がいることで何か意識しちゃったんじゃないですか。頑張って下さい」

と激励されたが、練習日にやってきたときから3番、6番の池と、アウト、インにびっしりと広がる厚いラフには注意しなければいけないと思っていただけに、自分の不注意にはほんとうに腹の立つ思いだった。

□手強いラフ

このように戦術性の高い池に、初日も2日目もまんまとはまってしまったのだが、同時に青々と伸びたラフの深い芝も曲者だった。底に沈んでいるボールを舞い上がらせるには、かなりロフトの多いクラブで打たなければならなかった。霞台CC総支配人岩沢茂氏は「ラフに入れたら0.5ストロークくらいの差がつかなければ……」ということであつた。この手強いラフは、私にとっては0.5どころか、ゆうに1ストローク以上の違いがあるようだ。

それにしても、深いラフといい、スマーズな滑りのペント・グリーンといい、この炎天続きの異常気象の中で、よくぞここまで管理されきったものである。

「それには苦労しました。ラフには雨を期待しながら肥料をたっぷりやりましたし、グリーンには、朝の4時ごろから従業員総出で水を撒きました」（岩沢総支配人）と関東シニア選手権の“舞台作り”の裏側をこんなふうに話す。

話を聞いているうちに、関係者一同のご苦労に頭が下がる思いもしたし、同時にこんな晴がましい舞台に「枯木も山の眞面目」にしても参加できたことにかぎりない幸運を感じたものである。

□シニアならではの洗練されたプレー

また舞台となった霞台コースとともに、そこで戦った“戦友”たちも忘れることがない。落ち着いた攻めぶりも、あるいは同伴競技者としての応待も、ほんとうに洗練されたものであり、シニアならではの雰囲気を随所にかもし出しているのが印象的だった。

ことしの関東ミッド・シニアで2位と大健闘した白井則吉氏（我孫子GC）は「私はシニア選手権に参加するたびに夢と懐かしさを感じます」と語ってくれたが、まさにこの言葉はシニア・ゴルファーの心をばり射抜いていると見て間違いない。

初参戦の私だが、こういう素晴らしい舞台と友人を得て、これからもシニア・ゴルファーとして、ずっと夢と懐かしい思い出を育んでいきたいと願っている。



カット 山県和彦



シニア・ミッド合同のパーティー 来年の再会をお互いに約束

競技

平成6年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技成績表

出場者 154名

順位	選手名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
			アクト	イン	アクト	イン	
1	中村 清	水戸	39	36	75	37	38
2	川口 三夫	小田原・松田	36	42	78	35	73
2	加部 順	東京	39	37	76	37	38
4	加藤 明	新千歳	36	36	72	42	38
4	鈴木 軍治	袖ヶ浦	35	41	76	37	39
6	堤 矢夫	川越	38	40	78	38	37
6	上野 道	横須賀	39	38	77	37	39
6	吉澤 正春	浦和	38	38	76	37	38
9	金本 浩明	横浜	42	39	81	38	35
9	龍川 茂美	戸田	38	38	78	40	36
9	峰尾 佳成	平塚市富貴見	36	39	75	41	38
9	岡本 開	横浜ジムシーリー	42	38	80	37	37
9	波多野 康二	京都市	38	38	76	42	36
9	高松 英明	東芳	37	37	74	43	37
9	森田万寿雄	瑞穂	37	37	74	39	41
16	鈴木 正常	埼玉園	38	41	79	38	38
16	松沢 清之	伊勢	40	36	76	39	40
16	鹿屋 一郎	五島	37	39	76	39	40
16	岡田 光正	鹿児島	38	42	80	39	37
16	中野 弘治	美栄	38	39	77	41	38
19	松本 卒右衛門	桐生	41	38	79	37	40
19	河野 安男	江戸	37	42	79	38	39
19	永井 重吉	横子	41	41	82	36	38
24	松岡 和哉	武蔵	32	49	70	37	36
24	鈴木 昭昭	錦	42	42	84	37	36
24	三川一太郎	富士帝殷殿	38	40	78	39	40
24	小山 敏雄	青葉	37	39	76	42	39
24	吉澤 征強	城北	38	37	75	41	41
24	大村 静	リバーエフ	37	41	78	40	39
30	荒牧 敏忠	南紀	42	41	83	38	37
30	横川 尚三	唐津	40	37	77	41	40
30	山路 康一	廣島庄堀堂	41	41	82	37	39
30	鈴木 健明	江戸	41	38	79	40	39
34	小林 孝一	美里	40	41	81	38	40
34	田辺 進	東名厚木	41	38	79	38	42
34	小林 正義	横浜市日吉	40	41	81	39	39
34	塙本 勉	加茂	41	39	80	42	37
34	小林 善長	渋谷	44	40	84	38	37
34	北村 昭夫	桜	38	39	77	40	42
40	中野 芭美	茨城	42	42	84	39	37
40	堀 好晴	中	41	42	83	38	39
40	安藤 正義	摩城	43	37	80	41	39
40	六木本 清	岡部モダン	42	36	78	40	42
40	市川 二郎	大橋	39	41	80	38	40
40	富田 篤	嵐山	38	41	79	39	42
40	尾関 駿秀	武藏	39	41	80	37	43
44	宇治 治	天城にしきつ	42	41	83	38	39
48	上條 忠治	河口	37	44	81	41	39
48	前川 武英	リバタ	40	44	84	38	39
48	高橋 久雄	東松山	43	40	83	43	35
48	佐藤 澄弘	日光	42	40	82	39	40
48	岩間 邦平	柳橋	42	37	79	41	41
48	久富 和行	船橋	43	41	83	38	40
48	安原 春夫	小田原・松田	42	41	83	38	40
48	津井 正義	龍ヶ崎	40	38	78	43	40
48	大山 四郎	新千葉	40	40	80	39	42
48	竹村 茂雄	大利根	38	43	81	41	39
48	金山 泰政	茨城	40	40	80	40	41
48	光山 正樹	横須賀	43	41	84	37	41
51	小林棋一郎	富士モダン	46	37	83	40	39
51	鳴島 輝雄	東千葉	43	41	84	42	36
51	高田 俊博	中央	41	39	80	43	39
51	大久保 保次	日高	41	41	82	42	38
51	綱中 一郎	霞ヶ関	44	36	80	43	39
51	和泉 茂	フォーゼンズ	40	42	82	39	41
51	山寺 光雄	藤岡	41	43	84	41	37

順位	選手名	所	属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
				アクト	イン	アクト	イン	
67	大屋 洋佑	船	橋	40	44	84	40	39 79
67	角南 道弘	中	山	38	44	82	40	41 81
67	平山 定光	塩	原	42	40	82	39	42 81
67	勝保 忠義	富士	士	41	40	81	43	39 82
67	塙田 義正	立川	国際	41	41	82	42	39 81
67	宮沢 貞助	桜		41	43	84	39	40 79
67	川坂 侃	龍	ヶ 島	39	39	78	44	41 85
67	吉田 幸矢	東京	五日市	40	40	80	40	43 83
67	恩田 健	ザ・レイクス		44	38	82	37	44 81
67	細萱 美延	高	根	40	44	84	42	38 80
76	金子栄五郎	沼	津	44	39	83	43	38 81
76	新家 啓悦	山	岸	42	41	83	42	39 81
76	鎌浦 利夫	袖	満	39	45	84	40	40 80
76	園田 徳博	川	越	43	40	83	39	42 81
76	大林 仁	綱	武	39	40	79	43	45 84
76	矢野 隆男	富士	小 山	44	41	85	40	39 79
83	吉原 野乃五郎	土	山	47	41	88	42	35 77
83	種葉 英治	東	千葉	38	45	83	43	39 82
83	柴崎 行雄	一	宮	43	44	87	40	38 78
83	望月 麻理	戸	塚	38	44	82	41	42 83
83	松本 茂	甘	美	42	43	85	40	40 80
83	永瀬 清馬	永	瀬	44	43	87	37	41 78
83	佐久間潤二	ケ	谷	44	41	85	37	43 80
83	石川 栄治	千葉	国際	41	41	82	40	43 83
83	山崎 長逸	崖	山	40	43	83	40	42 82
92	伊藤 俊秋	東	太郎	37	46	83	43	40 83
92	藤井信之助	千葉	廣清	39	41	80	43	43 86
92	三塚 康輝	水	戸	44	39	83	45	38 83
92	大野 光雄	大	相	42	41	83	40	43 83
92	神津 治	蟹	野	44	42	86	39	42 80
92	西沢 五郎	南	起	43	40	83	41	42 83
98	小島 勇	伊	香	50	41	91	38	38 76
98	伊藤 義夫	千葉	廣清	43	45	88	40	39 79
98	小川 光生	川	越	46	39	85	42	40 82
98	入野 雄平	富士	チサン	37	48	85	39	43 82
98	田口 喜三郎	水	戸	42	42	84	41	42 83
98	白石 芳郎	茨	城	42	39	81	43	43 86
98	小野 昭雄	三	崎	43	43	86	40	41 81
98	森 泉	袖	ヶ 谷	45	43	88	41	38 79
106	田山 秀雄	芦	の 湖	48	42	90	40	38 78
106	加藤 亮	草	根	39	42	81	48	39 87
106	山田 享弘	武	藏	42	43	85	39	44 83
106	河合 五月	鶴	ヶ 岐	42	41	83	43	42 85
106	増田 志郎	フーリーズ		42	43	85	43	40 83
106	宍戸 一民	白	鳳	45	43	88	40	40 80
112	石川 廣雄	南	摩	44	43	87	42	40 82
112	出山 信雄	八	幡	42	45	87	41	41 82
112	山田 忍	嵐	山	43	45	88	42	39 81
112	林 吉郎	山	沢	41	42	83	44	42 86
112	佐藤 利勝	東	千葉	43	42	85	41	43 84
112	小山田拓夫	宇	都	43	39	82	42	45 87
118	竹野 三省	東	京	43	43	86	43	41 84
118	山部 豊	ザ・鹿野山		47	42	89	43	38 81
118	堤 和昭	澤	沢	41	43	84	42	44 86
118	阿部 忠男	横	浜	42	44	86	41	43 84
118	中村 正利	東京	国際	46	39	85	42	43 85
118	後藤 良平	桜		44	45	89	40	41 81
118	佐々木 平信	麗	之 台	41	45	86	43	41 84
118	石川 一二	白	鳳	43	40	83	41	46 87
126	内田 治雄	房	紀	38	51	89	41	41 82
126	森泉 青	津		42	43	85	42	44 86
126	酒井 佐之	取	手 国際	43	43	86	42	43 85
129	遠藤 雄司	城		48	42	90	43	39 82
129	鈴木 一夫	都	藏	47	42	89	42	41 83
129	杉山 駿	柏	質	46	42	88	45	39 84
129	金澤 利光	源	氏 山	42	45	87	43	42 85

■関東シニアゴルフ選手権予選競技メダリスト

- 第1ブロック(巻、山)
細美 美延 (高木 横) 72ストローク
 - 第2ブロック(源氏山)
岩岡 順平 (船 橋) 74ストローク
加藤 明 (新千葉) 74ストローク
藤井信介 (島 太郎) 74ストローク
 - 第3ブロック(伊豆にらやま)
前田 博之 (東富士開拓場) 71ストローク
久富 和行 (小田 原) 71ストローク
板倉 治志 (天城ヶ原) 71ストローク
 - 第4ブロック(廣津・三野)
山寺 美雄 (諏訪 国) 71ストローク
 - 版盛 節一 (宇都宮) 71ストローク
堤 和昭 (沼沢 汝) 71ストローク
三郎 明光 (鹿児 津) 71ストローク
吉野彰乃武 (土 浦) 67ストローク
 - 第5ブロック(桜)
・

平成6年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技成績表

出場者 114名

順位	選手名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
			アクト	イン	アクト	イン	
1	市川 一夫	伊香保子	36	38	74	37	40 77 151
2	臼井 则吉	白 瑛子	39	39	78	38	36 74 152
3	宮坂 昭治	鳳 麗	35	40	75	39	38 77 152
4	平 盛道	相模 崇	38	38	76	38	40 78 154
5	小沢 豊	富士 宮	39	38	77	39	40 79 156
6	小川 博道	多摩 摩	42	42	84	35	38 73 157
7	島本 郁男	武 蔵	39	38	77	36	44 80 157
8	重内 宏	立川 国際	41	40	81	38	39 77 158
9	川添 勇	八 王 子	39	40	79	44	36 80 159
10	牧山 伸郎	岡部チキン	40	40	80	39	40 79 159
11	伊藤 広明	小田原恵本	40	41	81	39	40 79 160
12	大畑 貴雄	南 麻 城	44	40	84	40	36 76 160
13	吉田 光	黒 嵐	39	38	77	45	38 83 160
14	杉山沖四郎	鹿 蔵	41	41	82	38	40 78 160
15	片倉 和三	藤原ジンボリー	41	36	77	38	45 83 160
16	永川 雄志	江 戸 島	40	42	82	38	41 79 161
17	神山 総一	武 道	42	44	86	36	41 77 163
18	高田 吉夫	葉山 国際	41	41	82	46	37 83 165
19	安富 勇二	武 蔵	42	40	82	44	39 83 165
20	荒井 照夫	中 山	40	44	84	39	42 81 165
21	内田 将	将 南	44	41	85	42	39 81 166
22	細川 力	黒 闇	41	39	80	48	38 86 166
23	桜井 元	常 闇	41	41	82	42	42 84 166
24	鈴木 正夫	レインボーワーク	44	39	83	45	39 84 167
25	市川金次郎	美 里	43	41	84	43	40 83 167
26	木村 良雄	孫 孫	46	39	85	41	41 82 167
27	久保田 勇	浜 伸	46	42	86	39	40 79 167
28	坂入 弘一	入 間	45	43	88	41	39 80 168
29	高橋 邦雄	辰 頭	43	43	86	46	37 83 169
30	松野 忠男	富 士	46	39	85	40	44 84 169
31	根本 知和	富 水	50	42	84	64	45 85 169
32	西田綾久彦	霞ヶ閣	41	38	79	45	45 90 169
33	本多 実	山 中	44	45	89	40	40 80 169
34	荒川 重男	東 中	41	43	84	43	42 85 169
35	筒井青久雄	南 摩	41	43	84	41	44 85 169
36	武田 博	入 間	44	39	83	47	40 87 170
37	山本嘉兵衛	東 京	41	41	82	47	41 88 170
38	中井 文治	東 京	44	42	86	42	43 85 171
39	曾根順之助	東 名	木 滅	44	42	86	44 86 172
40	増岡 重島	霞ヶ閣	44	40	84	46	42 88 172
41	岩井 利耕	山 木	45	41	86	46	41 87 173
42	谷間 芳明	真 名	44	42	86	42	45 87 173
43	岸 一	千 子	44	44	88	45	40 85 173
44	玉木 渥吉	香 ク	44	46	90	40	43 83 173
45	宮元 昭雄	鬼 愚	44	44	88	41	44 85 173
46	亀田 俊夫	日 曙	43	44	87	47	40 87 174
47	杉山 英男	霞ヶ閣	47	41	88	43	43 86 174
48	佐藤 俊雄	高 間	44	46	90	42	42 84 174
49	石橋 義典	東 京	41	47	88	42	44 86 174
50	新田 繁	リバーエフ	42	43	85	46	43 89 174
51	高橋 廉祐	千葉 国際	44	43	87	40	48 88 175
52	大月 一司	里 美	39	47	86	40	49 89 175
53	大熊 健造	大熊	45	46	91	42	43 85 176
54	大矢 得光	津 久	45	41	86	43	47 90 176
55	中村 正	水 気	46	41	87	48	42 90 177
56	佐藤 一武	芦 戸	43	42	85	44	48 92 177
57	北田 潤	水 平	43	48	91	46	41 87 178
58	石井 信光	福 富士見	43	46	89	46	43 89 178
59	吉田 友彦	山 狂	45	47	92	47	39 86 178
60	牛久 忠彦	山 狂	43	42	85	49	44 93 178
61	石井 真	山 舞	45	45	90	44	44 88 178
62	小林 実	山 間	47	42	89	44	45 89 178
63	板倉 正男	山 舞	45	45	90	39	49 88 178
64	星野 鶴	山 舞	46	46	92	46	41 87 179
65	安藤 龍男	京 葉	44	49	93	42	44 86 179
66	山内 茂樹	大 横	45	43	88	47	44 91 179
67	山本 寿	東 士	47	48	95	42	42 84 179
68	石田 孝	東 士	46	42	88	45	46 91 179
69	青柳 俊男	那須 小川	43	45	88	47	44 91 179
70	木越 敏徳	岐 久	45	44	89	47	43 90 179
71	都築 勝	滋 45	42	87	45	47	92 179
72	平 光夫	大 利	45	45	90	42	47 89 179
73	深澤 達一	廣 活	44	42	86	48	46 94 180
74	伊田 早男	陽 横	47	48	95	44	42 86 181
75	武藤 昭二	昌 魏	46	44	90	46	45 91 181
76	凌辺 直司	山 横	45	45	90	47	45 92 182
77	土居 正人	中 船	48	47	95	40	47 87 182
78	式田 春樹	大 横	43	44	87	47	49 96 183
79	市来 波瀬則	千葉 国際	48	46	94	47	42 89 183
80	金井 安次	東 名	44	47	91	45	47 92 183
81	鈴木 一男	木 扉	51	42	93	47	44 91 184
82	八幡 行彦	美 香	48	46	94	47	43 90 184
83	高原 仁	セレターナ	46	49	95	45	44 89 184
84	山田 八郎	東 霧	49	50	99	42	44 86 185
85	大森 茂	大 鶴	42	42	92	48	46 90 185
86	大谷 岩	光 市	42	47	89	50	46 96 185
87	宮本 忠志	武 蔵	47	44	91	48	47 95 186
88	鈴木 謙兒	浦 一	47	48	95	44	47 91 186
89	大崎 謙	舞 鶴	46	42	88	50	48 98 186
90	松村 茂	開 間	46	45	96	42	48 90 186
91	福田 真	立 川	49	47	96	48	44 92 188
92	鈴木 清次	天 焼	46	45	91	53	45 98 189
93	高沢 李幸	サ 二	50	52	102	46	42 88 190
94	中桐 幸雄	ケ 間	53	49	102	45	43 88 190
95	菊川 明士	東 名	44	54	98	47	48 95 193
96	林 真己	厚 石	61	43	104	44	48 92 196
97	高森 良夫	黒 鶴	48	47	95	48	54 102 197
98	南山 均	穂 船	50	49	99	50	49 99 198
99	菊山 欣政	橋 樅	55	47	102	53	49 102 204

“豊岡式”ジュニア・ゴルフ・スクール

レポート 豊岡ジュニア・ゴルフ・スクール実行委員会

うれしいことに、各地で俱楽部主催のジュニア育成活動が芽生えつつある。

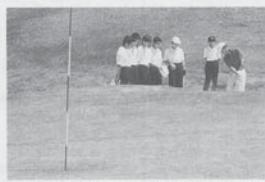
今回は静岡県の「豊岡国際カントリークラブ」のジュニアゴルフスクールを紹介しよう。

8月3、4、5日の3日間「第1回豊岡ジュニア・ゴルフ・スクール」を開催致しました。レポートのはじめに関東ゴルフ連盟のジュニア育成委員会はじめ事務局の皆様の御指導御支援に深く感謝申上げます。

当スクールは、次代を担う青少年にスポーツとしてのゴルフの楽しさと、ルール・マナー等を習得しながら人格形成を目指すという趣旨のもと、この度は中日新聞東海本社、静岡県ゴルフ練習場協会の御後援をお願い申し上げ、心よくご協力を賜りしたことを、ご報告申し上げます。



まずはドライビングレンジで十分に打ち込む



バンカー アプローチのテクニックをレッスン

I. 準備段階

数年前に関東ゴルフ連盟よりジュニア育成の指定ゴルフ場制度に指定を受けたのを機会にクラブ理事長が前向きにジュニア育成の方針を掲げ施設の新設、拡張に着手し、昨年の夏待望の打席練習場(11打席)とバンカー練習場が完成した。そして5月の開催要項の草案時期に、当初は会員の子女を中心に集める予定であったが県の西部地区の高校で初めてゴルフ部が発足し顧問の先生が熱心に指導を行っており、生徒をこの機会に参加させて欲しいとの要請があり、お受けすることにした。

そして又、折角の試みでもあるので当クラブが常々チャリティゴルフ大会等でご協力いただいている中日新聞の東海本社(浜松市)に取材報道と公募をお願いしたところ好意的にご協力いただいた。

そして、ジュニア育成は永続性のある事業でなくてはならないとの結論に至り、スクールを支える組織として豊岡ジュニア・ゴルフ・スクール実行委員会を設立した。

II. 豊岡ジュニア・ゴルフ・スクール実行委員会

委員長以下15名の委員で編成した。勿論、理事会にて満場一致承認の上での発足である。

7月27日に第1回豊岡ジュニア・ゴルフ・スクール実行委員会を開催し、次の事が報告決議しました。

1. 参加者予定28名

内訳	学年別	ゴルフ経験別
県内24名	高校男子13名	3年以上 4名
県外4名	高校女子6名	1年以上14名
	中学男子7名	1年以内6名
	小学男子2名	なし 4名
合計28名		

2. クラス、班、組編成、内容

①1日目は経験別に

1班を1、2組、2班を3、4組、3班を5、6組、4班を7組と初心者の8組に編成 2日目3日目は午後のラウンド・レッスンのスコア順に編成し直すこと。

②別紙スケジュールに従い班ごとに4カ所の基本レッスンを午前中行う。

各班ごとに1名の引率者(職員)を付け、練習移動のたびに初めと終りの挨拶の徹底をする。

午後のラウンド・レッスンには各組に指導者(プロ・アシスタント・クラブ委員)1名と、危険防止・ケガ病気予防・その他に補助者(職員)1名を付ける。

2・3日目のラウンド・レッスンには、公式スコア・カードを渡し、マーカー制度を取り入れ、又、上級クラスの組には、暫定球の宣言等指導する。

3. 指導者

プロ2名、アシスタント・プロ2名、研修生3名、KGA競技委員1名、クラブ競技委員5名、クラブ競技委員に応援を依頼した。

一人の指導者が受け持つ生徒の人数には各施設の広さと打席数が影響するが、何分にも各々生徒の技量が申込書よりの判断で決めるため多分に心配だった。一人の指導者がドライビング・レンジで30分~40分指導した場合、一人3分~5分熱心に指導するとして、やはり1班8人くらいが適切ではないかと、基本練習は順繰りに各班30分交代で8人上限とした。

4. 練習施設

ドライビング・レンジ	11打席
バンカー練習場	1カ所
パッティング練習場	2面
アプローチ練習場	1面
ラウンドレッスン 岩室コース使用 (モノカート使用)	

(セルフにてラウンド・レッスンの予定だったが暑さと初心者並びにラウンドが初めての生徒が多数のためにモノカート使用に変更した)

以上、開催当日は1日目、2日目と日を追うごとに指導者も熱が入り、これも教えたうだどうだ?とか具申があり又、このスクールに参加して、後日すぐに役立つことを、例として(ピンの持ち方)等指導したらとの種々ご意見があった。

5. 昼食

カレー・ハンバーグ等ジュニアの嗜好に添うような3日間違うメニューにした。

6. 危険防止、けが、病気予防の徹底

III. 8/3(水) 第1日目 28名参加

晴天 9時より父兄同伴でジュニア来場
署名簿にサインをし、ロッカー・キーを受ける、一般と同じ扱い。

9:30 開講式

役員、指導者、生徒全員揃って大きな声で(お

はようございます)
の挨拶でスタート。

注意事項、班・組編成、スケジュール発表、指導者紹介、その後予定より30分遅れで基本練習に入る。

午前中は4班編成で4カ所にて基本練習4カ所に冷たい麦茶入りの水筒用意。

1班の生徒は経験者が多く自由に打たせその後指導者が各チェック。その前に指導者が模範ショットを行う。

2班・3班の生徒にはグリップより入る。

4班の初心者クラスはボールをティ・アップして打たせる。

順にバター、バンカー、アプローチの練習を消化する。

午前中にスケジュールを消化できそうもないので30分延長。

12:30昼食 今日はハンバーグ定食ジュース付。

13:15 ビデオにてルール・マナー講習その後質疑応答。

14:00 岩室コースにてハーフ・ラウンド但し初心者の4班8組は3ホールのみブレイ、指導者・補助者暑さの中同伴、各カートに水筒とロストボール積み込む、1、2組は経験者が多くバーオン並びに好ショット続出、暑さとラウンド初体験のため、各組遅れ目立つ、最終7組目ブレイ終了18時過ぎ。生徒、緊張と初体験で疲労目立つ。 挨拶解散。

●8/4(木) 2日目 27名参加

晴天 役員・指導者9時よりミーティングを行い、反省点注意事項確認する。

①ラウンドに時間が掛かるため、本日は13時よりラウンド・レッスン開始。

②班・組編成替。

③オフィシャル・カードを使用し、マーカー制



小学生もだいぶサマになってきた



ジュニアの食欲は暑さも関係なし

新規加盟倶楽部紹介

で広く信仰されている香取神宮があります。

機会がありました、是非、ご来場くださいます様、お待ち申し上げて居ります。

石坂ゴルフ倶楽部



1. 倶楽部名 石坂ゴルフ倶楽部

住 所 埼玉県比企郡鳩山町241-24

電 話 0492-96-2525

2. 開場年月日 平成5年9月25日

3. 理 事 長 田口 栄 (T.8.1.30)

4. 倶楽部分科委員長

競 技 委 員 長 吉田 進

ハ ン デ キ ャ ッ プ 委 員 長 鈴木 和朗

5. 支 配 人 平野 英雄 (S.14.9.8)

6. 倶楽部概要

当俱楽部は関越自動車道鶴ヶ島ICより12分、都心より1時間以内の立地で住宅を借景にした郊外型ゴルフ場です。また数々の実績を誇る大日本土木(株)直営のゴルフ場でゴルファーの趣向を追求した飽きのない攻略と自然を活した完璧な設計となっています。

コースは総面積約117万m²、7,018ヤード、パー72の丘陵ホールですが高低差は10m位のフラットなコースです。

全体として戦略性の高いコースと評価を受け、なかでも四つのショートホールは特徴のある池越え、谷越え、風と距離を考えてのクラブ選択、1,000m以上のペント・ワングリーンは快良い緊張感を与えるに充分な名物ホールになっています。18ホールのミドルは2打で攻めるか3打でのせるかグリーン手前のクリークと左右の池に挟まれた最終ホールは話題の尽きない所です。

クラブハウスは7,500m²の中に広々とした空間を確保したプレーヤーズホールをはじめロッカールームやレストラントン、そして8人~50人まで利用可能な9室のコンベアルームは交遊の場としての機能をもつなどすべてが、ゆったりと設計されています。又女性ゴルファーにも配慮したロッカールームや浴場は当クラブの特徴として好評です。レディスディもあります。

近くには岩殿ハイキングコース、平和資料館、こども動物自然公園、大学3校に囲まれたロケーションは家族と一緒に来ても良い環境のゴルフ場です。是非ご来場下さい。

香取カントリークラブ



1. 倶楽部名 香取カントリークラブ

住 所 千葉県香取郡小見川町織幡1177

電 話 0478-82-6111

2. 開場年月日 平成5年5月1日

3. 理 事 長 山田 敬三郎 (M.42.11.8)

4. 倶楽部分科委員長

総務委員長 河村 宏

競技・ハンディキャップ委員長 石野 清治

フェローシップ・キャディ委員長 吉成 儀

グリーンハウス委員長 脇田 昭

5. 支配人 松井 晴男 (S.10.2.21)

6. 倶楽部概要

東京から車で約60分、東関東自動車道の佐原香取ICを降りてから約3分でクラブハウスに到着という非常に便利なロケーションにあります。

コースはトム・クィンによる基本設計により、三菱地所が設計、監理、監修に、又、施工は大成建設と共同企業体が行いました。

開発総面積約75万m²の広大な土地に照葉樹林の象徴ともいえる“しらかし”をコースの要所に配し、スギ・ヒノキ・マツや落葉樹の自然林を残しながら四季折々の豊かな表情をみせております。

高低差も少なく、極端なドッグレッグのない構成になっていますが、18ホールそれぞれが個性豊かな戦略性を秘めています。

アウトコースは、ティーショットの落し所が難しく、距離が長いショートホールなど、変化に富んでいます。

インコースは、池のあるホールが多く、美しい景観をくり出していますが、見た目以上に距離があります。

グリーンは一年中同じコンディションで利用出来るサンドベントグリーンを採用しており全体的には平坦に見えますが微妙なアンジュレーションがあり、スリリングなタッチのパッティングを楽しむことが出来ます。パットの技術がスコアメイクを左右するコースです。

クラブハウスは欧州風のムードが漂い広く明るいムードのあるエントランスホール、大きく開放された窓からは、コースが一望できます。

コースの近くには、関東の名社、古くから武神とし

▶地元の中日新聞にも掲載



攻める生徒等
短期間だった
が、技術的に
も成果が目に
見えて現れる
生徒が続出し
たことが指導
者として、生



徒とともにこの暑い中ラウンドしたことが報われる
思いです。又、一件の事故等もなく安堵した。

16:30 閉講式

委員長より一人一人にランク別修了証と後援委員より各自に記念の色紙贈呈。

又、マナーとエチケットを身に付けたゴルファー
に成長される事を望む各委員よりのお話があった。

アンケート結果

①次回参加希望 16名 (70%)

②良かった点

- 1 食事がおいしい ジュースがついた事
- 2 参加費が安価
- 3 指導者が多いこと
- 4 ラウンドレッスンが9ホール回れた事
- 5 プロ、研修生の指導
- 6 いろいろな練習ができた

③悪かった点

- 1 暑かった事
- 2 休憩が少ない
- 3 スケジュールがハード

④父兄のお話

- 1 子供がたくましくなった。
- 2 回もぜひお願いしたい。
- 3 大きな声で返事ができるようになった。

を取り入れる。

- ④ラウンド時にルールの処置の説明。
- ⑤プレイの促進。歩行は速くプレイは慎重に。
- ⑥スコア記入はグリーンを離れて行う。

⑦目土励行

⑧ピンの持ち方、置き場所。

以上指導すること確認。

午前中は1日目と同じスケジュールをこなす。

昼食はエビフライ定食+ジュース。

14時よりラウンドレッスン。

天龍地区が記録的な40度以上の暑さに見舞われたが、好指導と生徒の熱心さに前日よりスコアを短縮する生徒続出。

又、ケガ・病気なし。

役員より修了証を発行するようにと申し出があり、3日間のスコアにてABCクラスに分けて発行すること決議。

●8/5(金) 3日目 28名参加

晴天 役員、指導員9時よりミーティングを行い、次の事項決定する。

- ①終了時間を早めるためにラウンド・レッスン時のスタートにショットガン方式を採用。
- ②閉講式を4時頃予定。

③班・組替。(前日のスコア順)

- ④ラウンド時、1、2組のAクラスの生徒には暫定球の宣言とティ・ショットOBの場合の処置の仕方等指導。

⑤午前中の基本レッスンは、各班指導者の元で、ボールを打たずに、グリップ・フェイスの向、スタンスの広さ、身体の向き、ウェイト配分等チェックし各人にメモ用紙を配布して記述するように指導約20分間練習、その後に不得意部門の復習

⑥初心者の8組は素振り中心の練習

12時 昼食 品実は大盛カレー+ジュース

なかには辛いため悲鳴を上げる生徒がいる。

又、おかわりをする生徒、水を多く飲む生徒と大変にぎやかである。

13時 ショットガン方式で2カ所よりスタート

障害物等の処置が2日間プレイで速やかにできる生徒。又、前日の失敗したホールを違った方法で

新規加盟倶楽部紹介

中峰ゴルフ倶楽部



1. 倶楽部名 中峰ゴルフ倶楽部
住 所 新潟県北蒲原郡豊浦町大字本田130番地4
電 話 0254-32-1200

2. 開場年月日 平成5年7月24日

3. 理事長 中村 雄二 (S.2.11.18)

4. 倶楽部分科委員長

競技委員会 坂本 洋司

コース委員会 植松 紀明

フェローシップ委員会 宮尾 益敏

5. 支配人 伊藤 勝也 (S.8.10.12)

6. 倶楽部概要

当ゴルフ倶楽部は新潟市内より車で約40分、越後の名湯・月岡温泉に隣接した緑豊かな豊浦町本田山の北西側丘陵地に位置し、眼下に越後平野、福島潟を望み、晴れた日には遠く佐渡ヶ島が見渡せる絶好のロケーションにあります。

コースは小林光昭氏の設計により総面積1,340千m²、18ホールズ、6,865ヤード、パー72で、アウトコースでは日本庭園美を、インコースでは越後平野の借景美を生かし、たっぷりとある距離、広々としたサンドベースのフェアウェイ、要所要所に待ち受けるレイク・バンカー、そしてグリーンはアンジュレーションのある大きなベント・ワン・グリーンで（平均800m²）、戦略性と様々な攻略ルートが用意され、ここでプレーを重ねる度に新たなチャレンジへとかきたられます。

名物ホールとして、四季を彩る花々とグリーン迄に大きな二つの池が展開する美しい17番のショートホールがあります。ここはグリーン上に乗ってから振り返って見たティーグラウンドの景観もまた美しいホールです。

クラブハウスは、延べ面積6,900m²で全体的にゆったりしており、丘陵地の陵線や自然に配慮して外壁は石張りの建物とし、周囲との調和を図っております。

内部は地中海の明るさをコンセプトに白を基調とし、スカイブルーと緑の色彩による落ちついた雰囲気で作られ、充実した機能とゆとりの空間のあるクラブハウスは、来場するプレイヤーに好評を博しております。

セント・フィールズゴルフクラブ



1. 倶楽部名 セント・フィールズ・ゴルフクラブ
住 所 茨城県久慈郡金砂郷町上利員2399
電 話 0294-76-3111

2. 開場年月日 平成3年10月1日

3. 理事長 橋爪 孝之 (T.15.9.28)

4. 倶楽部分科委員長

ハンディキャップ委員長 森田 哲雄

コンペティション・ルール委員長 古屋 剛司

エチケット・フェローシップ委員長 廣井健二郎

プロ・キャディ委員長 渡邊正太郎

5. 総支配人 関谷 喜樹 (S.6.1.12)

6. 倶楽部概要

当セント・フィールズゴルフクラブは茨城県北部、大宮町と常陸太田市との中間に位置し、常磐自動車道那珂ICより22km約30分のアクセスとなっています。

コースは、本橋栄一氏の設計、村上隆プロの総合監修で総面積は約850千m²、18ホールズ、6,875ヤード、パー72のヨーロッパ調のクラブハウスの雰囲気と日本庭園をイメージしたコースがマッチし、日本人の心を満足させるものとなっております。

アウトコースは少々高低差を設け、インコースはフラットでその代わり池を巧みに配置した戦略性があり、またプレーヤーに飽きさせないチャレンジ心を起こさせ樂しませる設計となっています。グリーンは、 bent のワングリーンでややアンジュレーションのある難度の高い大きなグリーン（平均600m²）となっています。会員の皆様をはじめとし、プレーをなされた方がお帰りの際に必ず「素晴らしいコースだ、もう一度チャレンジしたい」とおしゃってお帰りになられ、後日、再度挑戦にご来場されます。

クラブハウスはヨーロッパの貴族の館を思わせる、赤煉瓦を基調とした建物が9番、18番グリーン前の池に映え、落ち着いた雰囲気を醸し出している。ハウスは5,332m²の面積の3階にホテルを併設し、ツインタイプの宿泊設備が11室あり、ご来場の皆様にご宿泊を含めご満足頂ける様になっています。

常務理事会・理事会・分科委員会

平成6年度 第3回常務理事会
議事録

日 時 平成6年11月1日(火) 午前10時

場 所 ホテル国際観光 梅の間

出席者 細川理事長、中井、古賀、松浦各副理事長、相山、北村、

小宮山、松野、尾閑、斎藤、

滝沢、田中、内田、渡邊各常務理事

海老原、河尻理事（新規加盟申請俱楽部推薦理事）

⑤入場者の連盟宛届は自主申告とし、締切月の翌月10日以内とする。この申告に基づいて連盟は請求書を発行する。

⑥徴収回数は年2回を目途とする。

⑦平成7年度に限り、4月1日より実施する。(9ヶ月の徴収となる)

⑧7年度事業計画については、関係委員会にて再検討を行い、諸経費の削減を計り、収支予算案を作成する。

⑨JGAの年会費金額、及び徴収方法等が変更になった場合は、具体的徴収方法について協議の上、決定する。

細川理事長議長となり、午前10時開会を宣し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1. 平成7年度以降の年会費、及びKGA
ゴルフ振興協力金の件

標記の件について、中井副理事長より次記提案がなされ、これを決議、理事会に承認をもとめることとした。

去る10月14日開催された総務・財務合同委員会において、本件に関する各都県の状況、要望、及び関係官庁（税務署、公取）との折衝、指導等を考慮し、以下の修正案を決議したので、本会議に提案する。

①振興協力金に代え、年会費として徴収する。

②徴収に当たっては、入場者の実数にて行う。

③金額は20円とし、(財)日本ゴルフ協会年会費を含めるものとし、また均等割50,000円の徴収案については廃案とする。

④経理処理については、俱楽部側一任とするも從来同様年会費処理とし、預り金、又は協力金等の名目は使用しないこととする。

討議にあたっては、各県常務理事より県別特殊事情（冬季クローズ、入場者減等）にもとづいた、要請、質疑意見等が活発になされ、慎重審議の結果、出席者多数が賛意を示し、上記の決議にいたった。

2. 平成7年度理事選任の件

規約第14条第1項、及び細則第1条に基づき、次記平成7年、8年理事候補推薦委員11名を選任し、各都県候補を平成7年1月15日までに、連盟宛候補者名簿を提出することを決議した。

新潟県 斎藤 文志郎

長野県 田中 紹策

山梨県 群馬県 福田 彰

栃木県 滝沢 武

茨城県 古賀 始

埼玉県 尾閑 秀夫

千葉県 松浦 均

東京都 小宮山 義孝

神奈川県 相山 武夫

静岡県 北村 順則

明がなされ、これを承認した。

競技名称については、「KGA杯・アンダーハンディキャップゴルフ選手権競技」と決議された。

4. 企業年会費設立準備委員会の件

尾閑準備委員長に一任されていたKGA厚生年金基金の準備委員は、次記10名が指名委嘱された。

委員長 尾閑 秀夫

副委員長 古賀 始

〃 松浦 均

委員 斎藤 文志郎

〃 藤原 正男

〃 田中 紹策

〃 桑原 正明

〃 相山 武夫

〃 北村 順則

〃 小宮山 義孝

5. 新規加盟申請俱楽部入会審査の件

11月1日現在、申請のあった下記4俱楽部の入会について、慎重審議の結果これを承認した。

①セント・フィールズゴルフクラブ（茨城県）

②中峰ゴルフ倶楽部（新潟県）

③香取カントリークラブ（千葉県）

④石坂ゴルフ倶楽部（埼玉県）

これによって加盟総俱楽部は463俱楽部となった。

6. (財)日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件

11月1日現在申請のあった田中二郎氏他174名について審議の結果これを承認し、(財)日本ゴルフ協会に対し届け出を行うこととした。

7. その他

①関東オープン取支概算報告、及び国連難民救援基金取支報告の件

常務理事会・理事会・分科委員会

事務局長による具体的な説明がなされこれを了承した。

②関東オープン分担金微収状況
10月31日現在未払い加盟俱楽部の現状につき、事務局長より説明があり、引き続き回収に努力することを了承した。

尚、年会費未納俱楽部については、今後の結果を見て、規約に基づく対処方針を考慮することとした。

以上をもって議題審議を終了し、細川議長、12時10分閉会を宣した。

平成6年11月1日

議事録確認署名者

署名者 中井 文治 (印)
署名者 渡邊 満之助 (印)

平成6年度 第3回理事会 議事録

日 時 平成6年11月1日(火) 正午

場 所 ホテル国際観光 寿の間

出席者 細川理事長、中井、古賀、松浦各副理事長、相山、福田、北村、小宮山、松野、尾閑、斎藤、滝沢、田中、内田、渡邊各常務理事、新井、海老原、福田、福嶋、藤原、平山、広中、人見、神場、河西、加藤、河尻、楠本、桑原、前田、中島、南学、大池、芝本、安、横山、吉田、吉岡、吉澤各理事、岩本監事

細川理事長議長となり、開会を宣し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1. 平成7年度以降の年会費、及びKGA

ゴルフ振興協力金の件

中井副理事長より、常務理事会において從来のゴルフ振興協力金として微収する案を各都県の状況、要望、及び関係官庁（税務署、公取）との折衝、指導等を考慮して修正し、年会費として微収する決議をした報告がなされ、下記事項についての承認を求めた。

2. 平成7年度理事選任の件

規約第14条第1項、及び細則第1条に基づき、次記平成7年、8年理事候補推薦委員11名を選任し、各都県候補を平成7年1月15日までに、連盟宛候補者名簿を提出することを承認した。

新潟県 斎藤 文志郎

長野県 蜜沢 正吾

山梨県 田中 経策

群馬県 福田 彰

栃木県 滝沢 武

茨城県 古賀 始

埼玉県 尾閑 秀夫

千葉県 松浦 均

東京都 小宮山 義孝

神奈川県 相山 武夫

静岡県 北村 順則

3. アンダーハンディキャップ競技の件

尾閑競技委員長より競技運営等の説明がなされ、これを承認した。

競技名称については、「KGA杯・アンダーハンディキャップゴルフ選手権競技」とすることを了承した。

4. 企業年金設立準備委員会の件

尾閑準備委員長に一任されていたKGA厚生年金基金の準備委員は、次記10名が指名委嘱された。

委員長 尾閑 秀夫

副委員長 古賀 始

〃 松浦 均

委員 斎藤 文志郎

〃 藤原 正男

〃 田中 経策

〃 桑原 正明

〃 相山 武夫

〃 北村 順則

〃 小宮山 義孝

5. その他

①新規加盟申請俱楽部入会審査の件
11月1日現在、申請のあった下記4俱楽部の入会審査を常務理事会において行い、これを承認した。

イ. セント・フィールズゴルフクラブ (茨城県)

ロ. 中峰ゴルフ俱楽部 (新潟県)

ハ. 香取カントリークラブ (千葉県)

ニ. 石坂ゴルフ俱楽部 (埼玉県)

これによって加盟総俱楽部数は463俱楽部となった。

②(財)日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件

11月1日現在申請のあった田中二郎氏他174名について常務理事会において審査の上、(財)日本ゴルフ協会に対し届け出を行うことを承認した。

③関東オープン収支概算報告、及び国連難民救援基金収支報告の件
事務局長による具体的な説明がなされこれを了承した。

④関東オープン分担金微収状況

10月31日現在未払い加盟俱楽部の現状につき、事務局長より説明があり、引き続き回収に努力することを了承した。

以上をもって議題審議を終了し、細川議長、14時30分閉会を宣した。

平成6年11月1日

議事録確認署名者

署名者 中井 文治 (印)
署名者 平山 誠一 (印)

平成6年度 第3回総務・財務合同委員会 議事録

日 時 平成6年10月14日(金) 午後3時

設立準備委員、及び顧問候補者(案)

常務理事会・理事会・分科委員会

については、尾閑委員長案を承認し、各位の引き受けを待つこととした。

3. その他

イ. 60周年行事の件(7年度)
①60周年史を発行する。
②記念パーティーは行わない。
③関東オープンを記念大会として、予算を増額する。

ロ. 委員交通費等は、ボランティア精神に則り現状維持とする。
ハ. 公正取引委員会より事業者団体として認定された事により、届け出については、常務理事会、理事会に報告後に行う。

ニ. 7年度常務理事会、理事会の日程について
7年1月20日(金)を予定
ホ. 7年度総会日程について
7年2月22日(水)を予定

但し、オブザーバーの出席は認めない。以上の決議、及び報告事項を来る11月1日開催の常務理事会、理事会に上程することとした。

平成6年度第4回コース・レート委員会 議事録

日 時 平成6年10月14日(金) 正午

場 所 KGA会議室

出席者 新井委員長、北村、諸戸副委員長、市川、生田、松岡、中川、岡田、佐久間、吉田各委員、福田顧問

—討議及び決議事項—

1. 那須黒羽ゴルフクラブ以下10俱楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

(1) 那須黒羽ゴルフクラブ

常務理事会・理事会・分科委員会

Aグリーン	ペントグリーン	コーライグリーン
バック・ティ 70.0	バック・ティ 71.8	バック・ティ 72.0
レギュラー・ティ 68.8	レギュラー・ティ 69.1	レギュラー・ティ 70.5
フロント・ティ 68.2	フロント・ティ 66.9	フロント・ティ 69.2
Bグリーン	(6)ゴールデンレイクスカントリークラブ	(フロント・ティの机上査定ならびにバック・ティ、レギュラー・ティの修正査定)
バック・ティ 69.5	ペントグリーン	
レギュラー・ティ 68.3	グリーン・ブルー	
フロント・ティ 67.7	バック・ティ 72.7	(10)東ノ宮カントリークラブ
(2)那須グリーンコース俱楽部	レギュラー・ティ 69.9	さつき・あおい
ペントグリーン	フロント・ティ 68.0	ペントグリーン
EAST・SOUTH	グリーン・オレンジ	バック・ティ 72.9
バック・ティ 72.0	バック・ティ 72.4	レギュラー・ティ 71.5
レギュラー・ティ 70.0	レギュラー・ティ 69.7	フロント・ティ 70.2
フロント・ティ 68.4	フロント・ティ 67.4	コーライグリーン
EAST・NORTH	ブルー・オレンジ	バック・ティ 72.3
バック・ティ 71.6	バック・ティ 70.7	レギュラー・ティ 70.9
レギュラー・ティ 70.0	レギュラー・ティ 68.3	フロント・ティ 69.7
フロント・ティ 68.6	フロント・ティ 66.9	さつき・おばな
SOUTH・NORTH	(7)ザ・オーシャンゴルフクラブ	ペントグリーン
バック・ティ 72.0	ペントグリーン	バック・ティ 72.3
レギュラー・ティ 70.1	バック・ティ 72.3	レギュラー・ティ 70.4
フロント・ティ 68.8	レギュラー・ティ 70.4	コーライグリーン
(3)富士カントリー富岡俱楽部	フロント・ティ 68.4	バック・ティ 71.8
ペントグリーン	(8)袖ヶ浦カンツリークラブ	レギュラー・ティ 69.8
バック・ティ 72.0	袖ヶ浦コース	あおい・おばな
レギュラー・ティ 70.0	ペントグリーン	ペントグリーン
フロント・ティ 68.4	バック・ティ 71.3	バック・ティ 71.8
(4)サニーカントリークラブ	レギュラー・ティ 69.0	レギュラー・ティ 69.9
ペントグリーン	フロント・ティ 68.1	コーライグリーン
蓼科・八ヶ岳	コーライグリーン	バック・ティ 71.8
バック・ティ 70.5	バック・ティ 73.5	レギュラー・ティ 70.0
レギュラー・ティ 68.9	レギュラー・ティ 71.0	(フロント・ティの机上査定ならびにバック・ティ、レギュラー・ティの修正査定)
フロント・ティ 68.1	フロント・ティ 69.9	
蓼科・浅間	(フロント・ティの机上査定ならびにバック・ティ、レギュラー・ティの修正査定)	
バック・ティ 70.9	らびにバック・ティ、レギュラーティの修正査定)	
レギュラー・ティ 69.2		
フロント・ティ 68.1	(9)袖ヶ浦カンツリークラブ	新袖コース
八ヶ岳・浅間	ペントグリーン	
バック・ティ 71.1	バック・ティ 71.3	白水ゴルフ俱楽部 11月4日(金)
レギュラー・ティ 69.2	レギュラー・ティ 70.0	セゴビアゴルフクラブ 11月17日(木)
フロント・ティ 68.1	フロント・ティ 68.8	鳴山カントリークラブ 11月21日(月)
(5)軽井沢900俱楽部		

常務理事会・理事会・分科委員会

平成6年度 第3回広報委員会 議事録	
日 時	平成6年11月14日(月) 2時30分
場 所	KGA会議室
出席者	内田委員長、宮元副委員長、舟橋、石川、片山、塙田、杉山、和田、山田、吉川各委員
3. 女子用コースレーティング・システムについて	「薄曇り、無風の絶好のコンディション、久しぶりの高麗グリーンということで、多少戸惑う選手もいたようだが、競技は順調に進行、3時25分には終了することができた。参加人数が少なかった為、今回女子は途中休憩をとらずに18ホール連続してプレーを行ったが、進行もよく、選手からは好評であった」。
4. JGAハンディキャップ委員会より、女子用コースレーティング・システムについてアンケート調査書がとどいたが、実施目的、意図がはっきりせず、回答については、10月26日開催のJGAハンディキャップ委員会まで、渡邊ハンディキャップ委員長、新井コース・レート委員長合議し、回答は両委員長一任とすることを確認した。	エントリー数他は以下のとおり —討議及び決議事項— 1. KGAニュースNo.48総括 出席委員より次記の意見、提案が出された。 ・掲載記事は、内容が充実し、読みごたえがあった。 ・写真スペースが小さく、増ページしてもよかったです。 ・「ジュニア・クリニック」はマンネリ化した企画であり、次年度より工夫をするのではないか。
5. 菅平高原カントリー俱楽部コース・レート査定の件 10月25日査定予定の菅平高原カントリー俱楽部より、コースコンディション不良のため査定を来春に延期したいとの申し出があり、全委員これを了承した。	開催日 平成6年10月17日(月) コース 龍ヶ崎カントリー俱楽部 エントリー 119名 (男子83名、女子36名) 欠席者数 事前連絡9名 (男子4名、女子5名) 無断欠席 0名 出場者数 110名 (男子79名、女子31名) 科罰者 0名 ミーティング欠席 0名 失格者 0名 棄権者 0名 2. 11月出場資格者確認の件 男子497名(+11) 女子192名(+3)
6. 平成7年度競技方針について 事務局案を承認した。また、委員長より「7年度『KGAニュース』編集方針及び広報活動方針については、次回委員会にて討議したい」旨の提案があり、これを確認した。	3. 11月のテーマ ・ボールマークの修復の徹底 ・ティ・グラウンド前方を横切らない
7. 平成7年度競技日程の件 来年度の月例競技日程について、3月度と6月度が未定であるが、3月度は習志野CCより開催日を検討中の返事をいただいており、6月度については船橋CCに開催を依頼することをそれぞれ確認した。	4. 平成7年度広報予算について 事務局長より、11月1日開催の常務理事会、理事会の決議を基にKGA財政状態が説明され、各委員会とも事業計画の見直しを行った旨の報告がなされた。 圧縮予算を編成する必要は理解できるものの、広報委員会としては、広報活動のさらなる充実、活性化が必要と考えるので、6年度予算額(1,500万円)と同額を計上したいことを説明し11月18日の総務財務委員会に上程することとした。
8. 10月度競技報告及び総括 山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。	—討議及び決議事項— 1. 10月度競技報告及び総括 山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

月例競技成績表

[平成6年度10月月例] 10月17日(月) 龍ヶ崎カントリー倶楽部

[男子]

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	室伏 健二	東 名	37	35	72
2	小川 透	岡部チサン	39	34	73
2	沢田 信弘	長 南	36	37	73
2	中島 広行	伊豆にらやま	36	37	73
2	長瀬 文彦	法政大	37	36	73

コースレート71.8

*9月プレーオフは沢田信弘氏の優勝となりました。

[女子]

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	渡辺 恵子	高 樹	36	39	75
2	村田トシ子	鎌ヶ谷	37	42	79
3	浜田 俊江	龍ヶ崎	40	40	80
3	加藤 勝栄	相模原	37	43	80

コースレート70.3

平成7年度 関東ゴルフ連盟月例競技日程表

H.6.11.11現在

月	開催日	開催コース	申込締切(2週間前)
1	1月24日(火)	程ヶ谷	1月10日(火)
2	2月15日(水)	東京	2月1日(水)
3	3月6日(月)	習志野(クイーン)	2月20日(月)
4	4月21日(金)	筑波	4月7日(金)
6	6月6日(火)	船橋	5月23日(火)
7	7月28日(金)	霞ヶ関(西)	7月14日(金)

月	開催日	開催コース	申込締切(2週間前)
8	8月21日(月)	袖ヶ浦(新袖)	8月7日(月)
9	9月28日(木)	江戸崎	9月14日(木)
10	10月23日(月)	富里	10月9日(月)
11	11月13日(月)	日高	10月30日(月)
12	12月1日(金)	茨城	11月17日(金)

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願いいたします。

倶楽部代表者

●富士カントリークラブ
(新) 西尾 慎之助 (旧) 相良 清

●セント・フィールズゴルフクラブ
橋爪 孝之／鬼頭 誠一

●中峰ゴルフ倶楽部
本間 刚三／伊藤 勝也

●石坂ゴルフ倶楽部
田口 栄／岡田 繁

●香取カントリークラブ
山田 敬三郎／神田 信子

●赤城国際カントリークラブ
(新) 岸城 由之 (旧) 山田 宮二

●習志野カントリークラブ
(新) 村尾 正美 (旧) 斎藤 晴夫

●桜ヶ丘カントリークラブ
(新) 上條 勇治 (旧) 青木 剛展

●かずさカントリークラブ
(新) 日置 敏 (旧) 坪井 達男

休場日

●佐倉カントリー倶楽部 (火) → (月)

●富士カントリークラブ (月) → (火)

KGAニュースNo.48に掲載した、平成7年度「関東ゴルフ連盟競技日程表」(10月20日現在)の中で、下記のように変更がありました。

関東アマチュア選手権予選 第5ブロック

平成7年5月8日(月) 千葉夷隅ゴルフクラブ

以上です。尚、関東ジュニアの女子予選はまだ未定となっています。

平成6年12月1日発行 KGAニュース No.49

発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391

発行人／細川 譲 製本／広報委員会